

(5) ガーベラ

病害虫	防除法	参考事項												
疫病	(耕種的・物理的防除) 1 低湿地又は排水不良な土地では栽培しない。 2 発病ほ場から株分け苗を採らない。 3 発病株は早めに抜き取る。 4 太陽熱消毒法などで本ぽを土壌消毒する (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病がみられたら下記薬剤のいずれかを処理する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>プレビクールN液剤</td><td></td></tr><tr><td>オラクル顆粒水和剤</td><td>ポット・プランター等の容器栽培</td></tr><tr><td>オロンディスウルトラSC</td><td></td></tr><tr><td>ユニフォーム粒剤</td><td>ポット・プランター等の容器栽培</td></tr><tr><td>リドミル粒剤2</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	プレビクールN液剤		オラクル顆粒水和剤	ポット・プランター等の容器栽培	オロンディスウルトラSC		ユニフォーム粒剤	ポット・プランター等の容器栽培	リドミル粒剤2		
薬剤名	備考													
プレビクールN液剤														
オラクル顆粒水和剤	ポット・プランター等の容器栽培													
オロンディスウルトラSC														
ユニフォーム粒剤	ポット・プランター等の容器栽培													
リドミル粒剤2														
根腐病	(耕種的・物理的防除) 1 低湿地又は排水不良な土地では栽培しない。 2 発病ほ場から株分け苗を採らない。 3 発病株は早めに抜き取る。 4 太陽熱消毒法などで本ぽを土壌消毒する (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 5 ロックウール栽培の改植時には熱水 (60～65℃) で消毒する。													
マメハモグリバエ	・ 共通防除の章のハモグリバエ類の防除の項を参照する。 (耕種的・物理的防除) 1 薬剤防除のみでは防除が困難であるため、耕種的・物理的防除法も組み合わせて実施する。 2 成虫は黄色に強く誘引される性質があるので、黄色粘着板を用いて発生をモニタリングし、初期防除を徹底する。 3 成虫の侵入を防止するため、施設開口部には防虫ネットを設置する。また、紫外線カットフィルムの利用も有効である。 4 ほ場周辺部の雑草などにも寄生するので、特にキク科雑草を除去する等、ほ場衛生に努める。 5 収穫後の被害残さは発生源となるので、土中に埋設するか、ビニール被覆し熱処理を行う。 6 収穫終了後、地表の蛹の防除対策として、施設を密閉し土壌表面をビニール等で被覆することにより蒸し込む。水分のある植物がない状態で最低地温 40℃以上が数日続けば、蛹はほぼ死滅し、羽化成虫も 1 日で死滅する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>アクタラ顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>アフファーム乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ディアナSC</td><td></td></tr><tr><td>トリガード液剤</td><td>マメハモグリバエで登録</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	アクタラ顆粒水溶剤		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤		アフファーム乳剤		ディアナSC		トリガード液剤	マメハモグリバエで登録	
薬剤名	備考													
アクタラ顆粒水溶剤														
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤														
アフファーム乳剤														
ディアナSC														
トリガード液剤	マメハモグリバエで登録													

病害虫	防除法	参考事項																																																		
アブラムシ類	(耕種的・物理的防除) 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 気門封鎖剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>エコピタ液剤</td></tr><tr><td>ムシラップ</td></tr></table> 2 自然くん煙 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>マブリックジェット</td></tr><tr><td>モスピランジェット</td></tr></table> 3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>オルトラン粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オンコル粒剤 1</td><td></td></tr><tr><td>アクタラ粒剤 5</td><td></td></tr><tr><td>アドマイヤー 1 粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ベストガード粒剤</td><td></td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>マラソン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アディオオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アーデントフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>スカウトフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ロディー乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ロビンフッド</td><td></td></tr><tr><td>アドマイヤーフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ベストガード水溶剤</td><td>カーネーションで薬害あり。</td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>チェス顆粒水和剤</td><td>きくで薬害あり。</td></tr></table>	薬剤名	エコピタ液剤	ムシラップ	薬剤名	マブリックジェット	モスピランジェット	薬剤名	備考	オルトラン粒剤		オンコル粒剤 1		アクタラ粒剤 5		アドマイヤー 1 粒剤		ダントツ粒剤		ベストガード粒剤		スタークル/アルバリン粒剤		オルトラン水和剤		マラソン乳剤		アディオオン乳剤		アーデントフロアブル		スカウトフロアブル		ロディー乳剤		ロビンフッド		アドマイヤーフロアブル		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤		ダントツ水溶剤		ベストガード水溶剤	カーネーションで薬害あり。	モスピラン顆粒水溶剤		コルト顆粒水和剤		チェス顆粒水和剤	きくで薬害あり。	○ くん煙剤の使用については、共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方法の項を参照する。
薬剤名																																																				
エコピタ液剤																																																				
ムシラップ																																																				
薬剤名																																																				
マブリックジェット																																																				
モスピランジェット																																																				
薬剤名	備考																																																			
オルトラン粒剤																																																				
オンコル粒剤 1																																																				
アクタラ粒剤 5																																																				
アドマイヤー 1 粒剤																																																				
ダントツ粒剤																																																				
ベストガード粒剤																																																				
スタークル/アルバリン粒剤																																																				
オルトラン水和剤																																																				
マラソン乳剤																																																				
アディオオン乳剤																																																				
アーデントフロアブル																																																				
スカウトフロアブル																																																				
ロディー乳剤																																																				
ロビンフッド																																																				
アドマイヤーフロアブル																																																				
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																																																				
ダントツ水溶剤																																																				
ベストガード水溶剤	カーネーションで薬害あり。																																																			
モスピラン顆粒水溶剤																																																				
コルト顆粒水和剤																																																				
チェス顆粒水和剤	きくで薬害あり。																																																			

病害虫	防除法	参考事項																										
コナジラミ類	・ 共通防除の章のコナジラミの防除の項を参照する。 (耕種的防除・物理的防除) - 特にタバココナジラミは薬剤抵抗性が発達しているので、以下に挙げる予防策を基本とした総合防除を行う。 - 寄生範囲が広いため、ほ場内外の雑草防除などは場衛生に努める。 - 施設では成虫の侵入防止を徹底する。0.4mm 目以下の防虫ネット、紫外線カットフィルム、反射資材等の利用が有効である。 - 夏期には露地においても発生が多くなるため、秋期より栽培(定植)の始まる作型では、施設内への成虫の侵入防止対策が特に重要である。 - 育苗期の防除に努め、コナジラミ類が寄生していない苗を定植する。鉢物など、栽培に関係のない植物は、施設内に持ち込まない。 - 連作する場合には、作と作の間に施設内に植物が存在しない期間を設け、コナジラミ類がリレーされることを避ける。 - 施設での発生予防のために黄色粘着テープを使用する場合は、侵入防止を徹底したうえで、施設の出入口や側窓付近に張り、定期的に交換する。 - 作物上に寄生したコナジラミの施設外への逃亡・拡散を防止するため、収穫後の残さは、キルパーの処理(下表)や施設の密閉(蒸し込み)により、枯死、乾燥させた上で処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 - 早期発見、早期防除に重点を置く。薬剤効果に差があるので、両種の区別を的確に行う。薬剤散布を行うに当たっては、葉裏に寄生している幼虫、蛹にも必ず薬剤がかかるよう丁寧に十分な量を散布する。さらに、薬剤が株全体によく到達するよう下葉の処分を早期に行うなど工夫する。 - 気門封鎖剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>エコビタ液剤</td><td></td></tr></tbody></table> - キルパーを用いた前作の古株枯死 (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」を参照) (農薬登録情報) <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>キルパー</td><td>前作の野菜類又は花き類・観葉植物類の古株枯死で登録</td></tr></tbody></table> - 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布又は施用する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td><td></td></tr><tr><td>カルホス乳剤</td><td>オンシツコナジラミで登録。若齢幼虫。</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ベストガード水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ディアナSC</td><td></td></tr><tr><td>ラノーテープ</td><td>施設栽培で登録</td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>チェス顆粒水和剤</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名		エコビタ液剤		薬剤名	備考	キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物類の古株枯死で登録	薬剤名	備考	スタークル/アルバリン粒剤		カルホス乳剤	オンシツコナジラミで登録。若齢幼虫。	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤		ベストガード水溶剤		ディアナSC		ラノーテープ	施設栽培で登録	コルト顆粒水和剤		チェス顆粒水和剤		
薬剤名																												
エコビタ液剤																												
薬剤名	備考																											
キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物類の古株枯死で登録																											
薬剤名	備考																											
スタークル/アルバリン粒剤																												
カルホス乳剤	オンシツコナジラミで登録。若齢幼虫。																											
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																												
ベストガード水溶剤																												
ディアナSC																												
ラノーテープ	施設栽培で登録																											
コルト顆粒水和剤																												
チェス顆粒水和剤																												

病害虫	防除法	参考事項																																														
ミカンキイロ アザミウマ	・ 共通防除の章のアザミウマ類の防除の項を参照する。 (耕種の防除・物理的防除) 1 施設内への侵入を防ぐため、開口部に防虫ネットを展張する。育苗期の被覆も有効である。ほぼ完全に侵入を阻止するには、目合い 0.4mm 以下の防虫ネットが必要である。 2 ほ場周辺の雑草を除去する。 3 粘着テープにより成虫を誘殺する。本種は特に青色に誘引される。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物農薬 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>スワルスキー</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>スワルスキープラス</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>リモニカ</td><td>施設のみの登録</td></tr></tbody></table> 2 キルパーを用いた病害虫まん延防止 (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」を参照) (農薬登録情報) <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>キルパー</td><td>前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録</td></tr></tbody></table> 3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オンコル粒剤 5</td><td></td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>スミチオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>トクチオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アクタラ顆粒水溶剤</td><td>ミカンキイロアザミウマで登録</td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>アグリメック</td><td></td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td><td></td></tr><tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ディアナSC</td><td></td></tr><tr><td>カウンター乳剤</td><td></td></tr><tr><td>コテツフロアブル</td><td>ミカンキイロアザミウマで登録。</td></tr><tr><td>ハチハチフロアブル</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	スワルスキー	施設のみの登録	スワルスキープラス	施設のみの登録	リモニカ	施設のみの登録	薬剤名	備考	キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録	薬剤名	備考	オルトラン粒剤		オンコル粒剤 5		ダントツ粒剤		オルトラン水和剤		スミチオン乳剤		トクチオン乳剤		アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマで登録	ダントツ水溶剤		モスピラン顆粒水溶剤		アグリメック		アフーム乳剤		スピノエース顆粒水和剤		ディアナSC		カウンター乳剤		コテツフロアブル	ミカンキイロアザミウマで登録。	ハチハチフロアブル		○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項 1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 2 アザミウマの生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。
薬剤名	備考																																															
スワルスキー	施設のみの登録																																															
スワルスキープラス	施設のみの登録																																															
リモニカ	施設のみの登録																																															
薬剤名	備考																																															
キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録																																															
薬剤名	備考																																															
オルトラン粒剤																																																
オンコル粒剤 5																																																
ダントツ粒剤																																																
オルトラン水和剤																																																
スミチオン乳剤																																																
トクチオン乳剤																																																
アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマで登録																																															
ダントツ水溶剤																																																
モスピラン顆粒水溶剤																																																
アグリメック																																																
アフーム乳剤																																																
スピノエース顆粒水和剤																																																
ディアナSC																																																
カウンター乳剤																																																
コテツフロアブル	ミカンキイロアザミウマで登録。																																															
ハチハチフロアブル																																																

病害虫	防除法	参考事項
ハダニ類	(薬剤防除) 農業登録情報	
	1 気門封鎖剤	
	薬剤名	備考
	エコピタ液剤	
	サフオイル乳剤	
	サンクリスタル乳剤	花卉、苞、葉に葉害を生じるおそれがある。トリアジン水和剤、スルフェン酸系水和剤、キャプタン水和剤及びストロビルリン系剤、T P N(ダコニール等)との混用、近接散布を避ける。
	粘着くん液剤	
	ムシラップ	発生初期
	2 自然くん煙	
	薬剤名	
	テルスタージェット	
	3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。	
	薬剤名	備考
	トクチオン乳剤	
	マラソン乳剤	
	ロディー乳剤	
	アグリメック	
	カネマイトフロアブル	
	ダニオーテフロアブル	
	ダニコングフロアブル	
	ダニサラバフロアブル	
	ダブルフェースフロアブル	花に葉害を生じる場合がある。
	テデオン乳剤	
テデオン水和剤		
ニッソラン水和剤		
バロックフロアブル		
ピラニカEW		
ペンタック水和剤	施設栽培で登録。開花期に葉害を生じる場合がある。	
コテツフロアブル		